【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】令和6年4月25日(2024.4.25)

【国際公開番号】WO2023/223389
【出願番号】特願2022-562859(P2022-562859)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｄ　5/245(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｄ　5/245１１０Ｍ
Ｇ０１Ｄ　5/245　　Ｗ

【手続補正書】
【提出日】令和4年10月14日(2022.10.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
回転体に取り付けられる非磁性の基材と、
円弧帯状でありＮ極を外周側としＳ極を内周側として前記基材に設置される第１の磁極部と、
円弧帯状でありＳ極を外周側としＮ極を内周側として前記基材に設置される第２の磁極部と、大バルクハウゼン効果を生じさせる磁性ワイヤ及び前記磁性ワイヤの磁化反転を検出するピックアップコイルを有する発電素子と、
を備え、
前記発電素子は、前記磁性ワイヤの長手方向が前記第１の磁極部及び前記第２の磁極部の径方向に沿うように、前記第１の磁極部及び前記第２の磁極部に対向して設置されており、
前記第１の磁極部と前記第２の磁極部との間には、非磁性の間隙部が設けられており、
前記第１の磁極部及び前記第２の磁極部の各々は、複数の棒磁石で構成されており、
前記第１の磁極部及び前記第２の磁極部を構成する複数の前記棒磁石の設置間隔は、前記基材のうち前記第１の磁極部及び前記第２の磁極部が設置された面と平行かつ前記棒磁石の長手方向に直交する方向の寸法であって、前記棒磁石が発生させる磁界がピークの半分以上となる範囲の寸法である半値幅の半分以下であることを特徴とする回転数検出器。
【請求項２】
前記間隙部は、前記回転体において発生する回転方向の振動幅よりも大きいことを特徴とする請求項１に記載の回転数検出器。